

仙台市長 郡 和子 殿

《保育所・児童館周辺等の交通事故防護対策に関する緊急要望書》

令和元年5月29日

公明党仙台市議団

団 長 嶋 中 貴 志
幹 事 長 鈴 木 広 康
副幹事長 鎌 田 城 行
幹 事 小野寺 利 裕
幹 事 小田島 久美子
菊 地 昭 一
佐 藤 和 子
佐々木 真由美
佐 藤 幸 雄

5月8日に滋賀県大津市の交差点で、衝突した自動車が散歩中の保育園児の列に突っ込み園児2人が死亡しました。その後も全国で子どもが犠牲となる交通事故が相次いで起こっています。

本市では、平成17年4月、同年12月に相次いで歩行専用アーケードを車が故意に暴走。本市に隣接する多賀城市でも同年5月に学校行事で国道を横断中の高校生の列に飲酒運転の車が突入。平成23年1月には飲酒運転の車が信号待ちの高校生に突入。若者の尊い命が奪われ続けました。

公明党仙台市議団は、市内の事故現場や事故多発交差点を集中点検し、車止めの新設・増設など安全対策を強く求めてきたところ、当局が交差点を総点検し危険箇所へのガードパイプ補強等の対策を講じてきたことは評価するものです。一方、全国で平成24年以降も登下校中の児童等の列に自動車が突入して多数の死傷者が発生する痛ましい事故が多発。文部科学省・警察庁・国土交通省が連携し通学路の緊急合同点検が促され本市通学路の安全対策も強化されてきました。

昨年は、新潟市内の女子児童が殺害された事件を受け、通学路の犯罪防止策等を緊急要望したところでもあり、今年に入り自転車の安全利用を促進する条例が施行され、交通安全施策も一層の強化が図られているところではありますが、今回の事故を受け改めて市内各所の安全対策について以下、緊急要望いたします。本市、関係当局連携しての速やかな対応をよろしくお願い申し上げます。

《要 望 項 目》

1. これまでの点検で改善が必要とされながら未整備となっている通学路等への安全対策を速やかに実施完了すること。
2. 小学校の通学路に加え、保育所、幼稚園、児童館等の周辺や散歩道の安全確保・安全対策に努めること。防護ポール、ガードレール、クッションドラム等の安全施設の設置促進。
3. 宮城県警察本部など関係機関と連携し、ゾーン30のエリア拡大に努めるとともに、日常のスピード違反の取り締まりと交通ルールの徹底を強化すること。

以上